

市立甲府病院 地域医療連携だより

平成 28 年
8 月号
Vol.16

基本理念 「いのちに光を、心にやすらぎを」

いのちの大切さを重んじ、患者さんとの相互信頼の上に立った医療をめざします。



地域がん診療連携拠点病院

目次

- ◆院長あいさつ
- ◆新各センター紹介
- ◆新任医師紹介
- ◆第 62・63 回勉強会開催
- ◆熊本大震災へ医療救護班派遣
- ◆外来各科の曜日別担当医表

院長 あいさつ

盛夏の候、医療機関の皆様方にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より当院の地域医療における役割に対し、ご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。さて、過日県から示された「山梨県地域医療構想」において、世界で類を見ない高齢化を前に医療提供体制の変革を促されています。

地域医療構想では、高齢化によって疾病構造が大きく変化するため、治療後のリハビリテーションなどを主力とした「回復期機能」を強化することや、病状の安定した患者を病院ではなく在宅医療や介護施設で診ることが盛り込まれており、その上で都道府県ごとの人口構造の変化を 2025 年まで計算し、年齢ごとの医療需要からその県ごとに必要な高度急性期、急性期、回復期、慢性期のそれぞれの機能をもった病床数を示しております。

当院では地域から求められる医療需要を勘案し、今年 1 月に地域包括ケア病棟（52 床）を開設したところであります。

また、中核病院として当院が提供する医療の充実にも努め、今年度から肝胆膵外科センター、大腸・肛門外科センター、呼吸器腫瘍センター、睡眠時無呼吸センターの 4 センターを開設いたしました。

今後も地域医療連携を一層推進するため、診療所等への訪問活動をはじめ地域医師会等との意見交換会や勉強会を継続して行うとともに、地域連携だより、ホームページ等を通じて各診療科情報や医療技術情報などの情報発信を強化してまいります。

また、安心・安全で信頼される適切な医療を、効率的に提供するためには、地域診療所からの紹介患者の積極的な受入など地域の医療機関との役割分担と緊密な連携を欠かすことができません。病院職員が一丸となり、なお一層地域医療の充実を推進してまいりますので、ご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。



院長
小澤 克良

市立甲府病院
地域医療支援室地域医療連携係

〒400-0832 山梨県甲府市増坪町 366 番地
TEL 055-244-1111 (内線) 2211
FAX 055-220-2660

新たに4つのセンターを開設しました

肝胆膵外科センター

担当医師 巾芳昭 榎本健太郎 塚原勇 千須和寿直

当院消化器外科では、肝胆膵疾患に対しより専門的な治療をするために2016年4月に肝胆膵外科センターを設立しました。肝胆膵外科センターにおいては内科肝臓専門医、胆膵専門医、放射線治療専門医、画像診断医と協力し高度な治療を行なっています。切除術式は患者さんの全身状態と術前の超音波内視鏡、CT、MRI等の画像診断を総合カンファレンスで詳細に検討し、患者さんにとって過大侵襲にならないようにまた、取り残しの無いように根治性を十分に考慮した最適な術式を選択しています。手術数は最近の傾向としては炎症性疾患の急性胆石胆嚢炎症例とともに膵臓癌、胆道癌、肝臓癌等の悪性疾患手術が増加しています。大きな手術が多くなりますが、術前術後管理を徹底させ、ご紹介いただいてから可能な限りお待たせしないよう手術日程を調整し、退院後は先生方に引き続きご診療いただく体制を取っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

大腸・肛門外科センター

担当医師 飯野弥 千須和寿直 角田元 柴修吾

大腸・肛門外科センターは良性・悪性を問わず大腸・肛門疾患に対する外科治療を専門的に行う目的で設立されました。なかでも治療の主体となる大腸癌は近年増加の一途をたどっており、山梨県内でも男女とも癌死亡原因の第2位となっています。近年の集学的治療の進歩により大腸癌はかなり進行した状態でも治癒させることができるようになってきましたが、そのためには、画像診断による詳細な進行度評価と適切な治療戦略の策定、従来からの開腹手術に加えて近年普及が著しい腹腔鏡手術の両面における高度な手術手技、分子標的薬などの大腸癌化学療法に対する広い知識と経験など、多方面で高度な専門性を備えたスタッフが必要とされます。当センターでは大腸肛門病学会認定専門医を中心に消化器内科、放射線科のみならず薬剤部、看護部等院内各部門が一致協力した診療体制を構築して最新の専門治療をご提供いたします。また、悪性疾患に限らず、県内では実施施設の少ない炎症性腸疾患の外科治療、痔核・痔瘻等の肛門良性疾患の治療、人工肛門の患者様をケアするストーマ外来も行っており、経験豊富な専門医と認定看護師が対応致します。

よろしくご依頼申し上げます。

呼吸器腫瘍センター 担当医師 大木善之助 樋田和弘

2016年4月より当院呼吸器内科では、甲府市を中心とする山梨県内の肺がんをはじめとする胸膜中皮腫や縦隔腫瘍などの胸部悪性腫瘍の診断・治療のさらなる向上を目的に呼吸器腫瘍センターを開設いたしました。

我が国のがんによる死亡者数は年間34万人を超え、増え続けております。そのうち肺がんによる死亡は年間7万人前後に達しており、肺がん治療のニーズは、ますます高くなってきております。近年分子標的薬の進歩や免疫チェックポイント阻害剤導入により一部の肺がん患者様では飛躍的な予後の改善が見込めるようになりましたが、肺がん全体としての治療成績は、いまだ十分とは言えない状況です。

肺がんの治療成績改善には、肺がんの早期発見・診断技術の向上は勿論、最新の標準治療を円滑に、迅速に、正確に提供できる場が必要と考え当センターを開設した次第です。

早期発見が肺がん死亡者数減少の一つの大きな近道であり、地域医療に携わる開業医の先生方からの今以上の多数の迅速な肺がん患者様の御紹介をお願いする次第です。

睡眠時無呼吸センター

担当医師 菱山千祐 小澤克良 中村亮介 黄淳一

当院は、2010年10月に睡眠時無呼吸症候群外来を開設し、2002年5月から2泊3日の入院でPSG検査とCPAPの導入を行ってまいりました。現在までに約2300人の患者様が外来受診され、うち約750人にCPAPを導入しております。この度、2016年4月からは睡眠時無呼吸センターを新設し、患者様毎に適した治療法を選択できるよう、歯科口腔外科や耳鼻咽喉科と連携し、睡眠時無呼吸症候群の診療に取り組んでおります。最近では、睡眠時無呼吸症候群がメタボリックシンドロームと密接な関係があることが分かってきております。高血圧、高脂血症、糖尿病などの生活習慣病に合併することも多く、治療抵抗性の場合には睡眠時無呼吸症候群の治療を併せて行うことが重要で、改善が期待できるとされております。生活習慣病を診療されている開業医の先生方との地域医療連携をより一層密接に行い、生活習慣病の改善や睡眠時無呼吸症候群の診療に努めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

新任医師紹介

外科 科部長

飯野 弥 (いいの ひろし)



本年6月より新設された大腸肛門外科センターに赴任しました飯野 弥 (いいのひろし) と申します。山梨県南部町の出身で、昭和61年に山梨医科大学医(現山梨大学医学部)を第一期生として卒業後、同第一外科で消化器外科、特に大腸肛門外科を専門として診療・研究をしてまいりました。大腸癌手術成績の向上、腹腔鏡大腸手術の導入、術前放射線化学療法を併用した高度進行直腸癌の機能温存手術、再発大腸癌の全身化学療法等に取り組み、現在も研鑽を重ねています。また、県内では実施施設の少ない炎症性腸疾患や遺伝性大腸癌に対する外科治療も多数経験してきました。今後は痔核、痔瘻等の肛門良性疾患も広く扱いつつ、今までの経験を生かした専門性の高い医療をご提供したいと考えています。宜しくお願い申し上げます。

外科 科長

柴 修吾 (しば しゅうご)



6月より外科に赴任しました柴 修吾と申します。平成13年に山梨医科大学を卒業し、山梨大学第一外科に入局しました。大学や福島(竹田総合病院)での外科研修の後は県内の病院(韮崎市立病院、加納岩総合病院)に勤務してきました。

最近7年間は山梨大学付属病院で消化管外科(上部、下部)の診療を行ってきました。

外科の対象となる患者さんもお高齢の方が増えておりますが、手術後もできるだけ手術前と同じような生活ができるような治療を心がけております。今後も研鑽を積み地域医療に貢献できるよう努力していきますのでよろしくお願い致します。

外科 医師

塚原 勇 (つかはら いさむ)



今年4月から外科で勤務させていただくことになりました塚原 勇と申します。

山梨県の旧若草町の出身で山梨大学卒業後、市立甲府病院で2年間の初期研修を行ないました。山梨生まれの山梨育ちですので、少しでも地域の医療に貢献できるようがんばってまいります。まだまだ勉強中の身であり、至らぬ点も多く皆様にご迷惑をお掛けする事もあると思っておりますが、精一杯努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

呼吸器内科 医師

渡邊 博 (わたなべ ひろむ)



本年4月から呼吸器内科に赴任いたしました渡邊 博と申します。

山梨大学を卒業後、山梨大学医学部附属病院での2年間の初期研修を終了し、第二内科に入局1年目です。

山梨で生まれ育ったこの身、今後は呼吸器内科医として皆様の笑顔のために、地域医療に少しでも多く貢献できるよう、日々精進してまいります。

ご迷惑お掛けすることも多いかと存じますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

消化器内科 医長

久野 徹 (くの とおる)



本年4月より消化器内科に赴任いたしました久野 徹と申します。

山梨大学医学部を卒業後、山梨大学附属病院第一内科に入局し、県内の病院で勤務しておりました。消化器内科のチームの一員としてより良い医療を提供できるように努力してまいり所存です。

今後ともよろしくお願いいたします。

消化器内科 医師

今川 直人 (いまがわ なおと)



本年4月より消化器内科に赴任させていただきました今川 直人と申します。

山梨県大月市出身で山梨大学医学部を卒業しました、卒業後山梨大学附属病院で2年間の研修をさせていただき、その後3年目に山梨大学医学部第一内科に入局しました。昨年1年間大学病院で診療させていただき、現在4年目になります。

まだまだ勉強中の身であり、ご迷惑をおかけすることも多いかと思っておりますが、少しでも地域の患者様のお役に立てるように精一杯診療にあたらせていただきますので、何卒よろしくお願いいたします。

循環器内科 医師

杉田 聖子 (すぎた せいこ)



本年4月より循環器内科に赴任しました杉田 聖子です。山梨県甲府市出身、山梨大学医学部を卒業し、山梨大学医学部附属病院にて2年間の臨床研修を行ないました。山梨大学第二内科に入局し、循環器内科医師としては1年になります。まだまだ分からないことばかりですが、少しでも早く皆様のお役に立てるように日々努力していきたいと思っております。至らない点も多いかと思っておりますが、フットワークの軽さだけは負けないように日々の診療に従事していきたいです。

今後ともよろしくお願いいたします。

神経内科 医師

名取 高広 (なとり たかひろ)



本年4月より神経内科に赴任しました名取 高広と申します。
山梨大学を卒業後、山梨県立中央病院での初期研修を経て、山梨大学で神経内科診療に従事しておりました。
山梨県において神経内科はまだ少数で、一般の方のみならず医療職の方からの認知度も低い状況にあります。(精神科、心療内科とよく間違われます。) 神経内科は脳や脊髄、手足の神経の病気を専門とする科であり、脳梗塞やてんかん、認知症など数の多い病気から神経難病と呼ばれる治療の難しい病気まで幅広く診療を行っております。その奥深さや難しさに圧倒されることも少なくありませんが、少しでもお役に立てるよう日々励んでおります。
今後ともよろしくお願いたします。

放射線診断科 医師

鈴木 達也 (すずき たつや)



本年4月に放射線科に赴任いたしました鈴木 達也と申します。
3月まで山梨大学医学部放射線科に勤務していました。市立甲府病院放射線科では地域連携の一環としてご紹介いただきました患者様のCT・MRI撮影及び読影を行なっています。
放射線科・放射線部が協力・合議して日々の検査を行っており、ご紹介内容や患者様の症状に合わせて撮影方法・内容を変更しています。ご紹介いただいた先生方の元へ速やかに適切な検査結果をお届けできるように努力して参りますので、今後ともよろしくお願いたします。

小児科 医師

車 健太 (くるま けんた)



本年4月より小児科に赴任しました車 健太と申します。
信州大学を卒業し、名古屋(中部ろうさい病院)、長野(信州大学附属病院)などでお世話になりました。今回山梨で勤務させて頂くのも生活するのも初めてとなります。
前年度は内分泌を専門として勉強させて頂きましたが、今年度は内分泌以外についても最新の知識と知見に基づいた医療を提供できるようにエビデンスの収集に妥協せぬように努力していきたくと思います。
まだまだ慣れないことが多いのですが、質の高い医療を提供できるように努めて参りますのでよろしくお願いたします。

産婦人科 医師

峰 俊輔 (みね しゅんすけ)



2016年4月に赴任してまいりました峰と申します。
卒業は2010年で、産婦人科としては5年目になります。昨年専門医を取得したばかりの若輩ですが、よろしくお願いたします。
卒業して初期研修から今に至るまで、6か月間東大病院で研修した期間を除き、すべて山梨大学で勤務していましたので、市中病院は初めての勤務になります。
大学病院とはいろいろ勝手が違うため、皆様にはいろいろご迷惑をおかけすることと思いますが、よろしくお願いたします。

産婦人科 医師

野崎 敬博 (のざき たかひろ)



本年 4 月より市立甲府病院産婦人科に赴任いたしました野崎 敬博と申します。

昨年までは山梨県立中央病院で 1 年間勤務していました。

産婦人科は周産期医療、婦人科腫瘍、生殖・内分泌、女性のヘルスケアと多岐にわたる分野を扱っており、それぞれの分野に興味を持って、日々研鑽を重ねているところです。まだまだ勉強中の身ではありますが、地域の方々の力になれるよう努力していきたいと思っております。至らぬ点もあるかとは思いますが、今後ともよろしく願います。

第 62・63 回地域医療連携勉強会が開催されました

平成 28 年 3 月 9 日 (金)、当院呼吸器内科長菱山千祐、歯科口腔外科医師中村亮介、耳鼻咽喉科長黄淳一を演者として、第 62 回地域医療連携勉強会「演題 当院における睡眠時無呼吸症候群 (S A S) 診療」をまた、平成 28 年 6 月 10 日 (金)、当院小児科部長伯耆原祥、小児科医長古本雅宏、小児科医師村瀬翼を演者として、第 63 回地域医療連携勉強会「演題

当院における小児科診療と PAPFA 症候群の検討」を多くの登録医の先生方のご参加をいただき中、開催することができました。

当勉強会は、地域医療の向上と地域の登録医の先生方と当院医師との交流を図るために開催しています。これからも登録医の先生方のご要望を取り入れながら実地診療に役立つ演題を、用意して開催させていただきたいと考えております。

その都度ご案内させていただきますので、ご参加の程よろしく願います。

次回は、9 月 30 日 (金)
大腸肛門外科領域を予定



熊本大震災へ当院医療救護班派遣

他山之石、可以攻玉（他山の石を以て玉を攻むるべし）

～熊本地震 災害派遣～

市立甲府病院 救急科
前田宜包

1995年の阪神淡路大震災のときに医療機関として災害対応ができなかったことを反省し、DMAT(災害医療支援チーム)が全国に組織されました。その後大きな地震や火山噴火、多数傷病者発生事故が起きるたびにDMATが出動するようになりました。今回の熊本地震でもDMATが出動しました。

DMAT活動でもっとも重視されていることは「指揮命令系統の確立」にあります。リーダーの指揮の下、医療ニーズを調査し、持てる医療資源を把握、投入していくわけです。熊本地震ではDMATだけではなく、保健師や理学療法士、歯科医、薬剤師が全国から投入され、それらの活動が整然と行われることを目の当たりにしました。

災害はそれぞれであり、事前の想定とは異なることばかりです。想定外に対応するには指揮命令系統を確立して対応するしかありません。皆様の職場でも地域でもいざというとき、指揮命令系統が確立できるように準備しておくことを勧めます。



市立甲府病院 外来各科の曜日別担当医表

◎予約外（新患）の患者さんについては、★印の医師が担当しますのでご確認をお願いします。

平成28年7月19日現在

診療科（担当部門）		午前 午後	月	火	水	木	金
内科 (午後は予約患者のみ)	総合内科	午前 午後	★河埜 功	★岩崎 康一 前田 宜包 河埜 功	★河埜 功	★前田 宜包 岩崎 康一 河埜 功	★岩崎 康一
	呼吸器内科	午前	★小澤 克良 大木 善之助	★大木 善之助 菱山 千祐	★小澤 克良 大木 善之助 樋田 和弘	★井上 修	小澤 克良 大木 善之助 ★菱山 千祐 大木 善之助 菱山 千祐
		午後	菱山 千祐 渡邊 博 樋田 和弘	小澤 克良 大木 善之助	小澤 克良 大木 善之助 樋田 和弘	菱山 千祐 内田 賢典 渡邊 博	★菱山 千祐 大木 善之助 菱山 千祐
	循環器内科	午前 午後	★瀧島 勲	沢登 貴雄 ★杉田 聖子	★猪野 友里	★鈴木 浩二 猪野 友里 杉田 聖子	★沢登 貴雄 瀧島 勲 沢登 貴雄
	腎臓・膠原病 内科	午前 午後	鈴木 浩二	★緒方 亮二	安藤 美那子	★緒方 亮二	安藤 美那子
	糖尿病・内分泌 内科	午前	★新藤 英夫 刈部 豊彦		★新藤 英夫	★新藤 英夫	★刈部 豊彦
午後		新藤 英夫 刈部 豊彦		新藤 英夫 斎藤 司		新藤 英夫 刈部 豊彦	
消化器内科	午前	★雨宮 史武 神津 馨里奈	★門倉 信 山口 達也 石田 泰章	★雨宮 史武 黒澤 明彦 久野 徹 石田 剛士	★門倉 信 辰巳 明久 島村 成樹 門倉 信	岩本 史光 ★久野 徹	
	午後	高橋 英 島村 成樹	雨宮 史武	石田 剛士	門倉 信	辰巳 明久 今川 直人	
精神科			休診	休診	休診	休診	休診
神経内科		午前～午後	富樫 慎治 名取 高広	富樫 慎治 羽田 貴礼 名取 高広	富樫 慎治 中村 由紀 林 正高(予約患者のみ)	富樫 慎治 羽田 貴礼 名取 高広	富樫 慎治 栗田 尚文 名取 高広
小児科		午前	青山 香喜 古本 雅宏 村瀬 翼	青山 香喜 伯耆原 祥 車 健太	伯耆原 祥 古本 雅宏	青山 香喜 村瀬 翼	伯耆原 祥 車 健太 沢登 恵美
外科	消化器外科	午前	★千須和 寿直	巾 芳昭 柴 修吾	飯野 弥 千須和 寿直 ★櫻本 健太郎	★角田 元 柴 修吾	巾 芳昭 飯野 弥 ★櫻本 健太郎
	呼吸器外科	午前		宮澤 正久		宮澤 正久	
	乳腺外科 内分泌外科 肝胆膵外科 大腸肛門外科	午前	村松 昭 國友 和善	國友 和善 巾 芳昭	國友 和善 飯野 弥	村松 昭	國友 和善 巾 芳昭 飯野 弥
		午後 (予約患者のみ)	堀内 忠一	前川 慎吾 川崎 晋睦 藤巻 圭太	堀内 忠一		前川 慎吾 藤巻 圭太
整形外科	予約外の方 (初診も含む)	午前	堀内 忠一 川崎 晋睦 穴山 聡	前川 慎吾 中村 祐敬 藤巻 圭太 川崎(予約患者のみ)	堀内 忠一 吉川 陵 中村(予約患者のみ)	川崎 晋睦 中村 祐敬 吉川 陵 水谷 将大 前川(予約患者のみ)	前川 慎吾 穴山 聡 藤巻 圭太
		午後 (予約患者のみ)	堀内 忠一	前川 慎吾 川崎 晋睦 藤巻 圭太	堀内 忠一		前川 慎吾 藤巻 圭太
形成外科		午前	成松 巖	成松 巖	成松 巖	成松 巖	成松 巖
脳神経外科		午前	及川 奏	西山 義久	及川 奏	西山 義久	及川 奏
皮膚科		午前	市川 健	市川 健	市川 健	市川 健	市川 健
泌尿器科		午前	★田邊 信明 相川 雅美	★小室 三津夫 相川 雅美	田邊 信明 ★犬塚 秀康	田邊 信明 ★相川 雅美	小室 三津夫 ★犬塚 秀康
産婦人科	婦人科	午前	平井 光男	峰 俊輔	小川 恵吾	野崎 敬博	高木 司
	産科5	午前	峰 俊輔	平井 光男	高木 司	小川 恵吾	平井 光男
	産科6 産科7	午前	高木 司 小川 恵吾	小川 恵吾 高木 司	安田 元己 平井 光男	峰 俊輔 平井 光男	野崎 敬博 峰 俊輔
眼科		午前 午後	杉山 茂	杉山 茂 杉山(予約患者のみ)	杉山 茂	杉山 茂 杉山(予約患者のみ)	杉山 茂 杉山(予約患者のみ)
耳鼻咽喉科		午前	★石山 哲也 林 亮 (林予約患者のみ)	★石山 哲也 黄 淳一 (黄予約患者のみ)	★林 亮 黄 淳一 (黄予約患者のみ)	★石山 哲也 林 亮 (林予約患者のみ)	★黄 淳一 石山 哲也 (石山予約患者のみ)
放射線診断科	画像診断	午前	野方 容子 鈴木 達也 佐々木 優	野方 容子 鈴木 達也	野方 容子 鈴木 達也	野方 容子 鈴木 達也	野方 容子 鈴木 達也 梅田 貴子
		午後	野方 容子 鈴木 達也 荒木 拓次	野方 容子 秋田 知子	野方 容子 鈴木 達也	野方 容子 鈴木 達也	野方 容子 鈴木 達也 渡邊 裕陽
放射線治療科	治療	午前 午後	前畠 良康 前畠 良康	前畠 良康 前畠 良康	前畠 良康 前畠 良康 舟山 慧	前畠 良康 前畠 良康	前畠 良康 前畠 良康
麻酔科		午前	非常勤医師	非常勤医師	非常勤医師	非常勤医師	非常勤医師
歯科口腔外科		午前～午後 (◇金曜日は予約患者のみ午前診療)	藤井 英治 中村 亮介	藤井 英治 中村 亮介	藤井 英治 中村 亮介	藤井 英治 中村 亮介	◇藤井 英治 ◇中村 亮介
緩和ケア内科		午前～午後	小林 薫 注)完全予約制です。(予約については、事前に電話でお問い合わせ下さい。)	小林 薫	小林 薫	小林 薫	小林 薫

(注意) 外来受付時間は午前8:30～11:00 午後の診療は”予約患者様のみ”となっています。

ご紹介頂いた医師が診察できない場合は、他の医師が診察する場合がありますが、予めご了承ください。